

会頭からのご挨拶



次世代へのバトン



第 32 回日本外来小児科学会年次集会
会頭 山本 淳 (星川小児クリニック院長)

全国の小児医療の現場で働く皆様、これから活躍しようと思っている皆様
第 32 回日本外来小児科学会年次集会は、横浜市で開催することになりました。
横浜市での開催というと、2012 年、前理事長の横田俊一郎先生を会長に、私が
事務局を担当して、多くの仲間たちとともに、今でもわくわくするような楽し
さいっぱいの年次集会を企画させていただいたことを思い出します。それから
11 年が経過し、私たちも年齢を重ねてきましたが、再び横浜で開催させてい
ただけることになりました。もちろん新しい世代の仲間たちも一緒です。

ところで、本学会は 30 年の歴史を刻んで参りました。私も自分のクリニック
を開院して 30 年以上になります。私を含め、多くの会員や職場のスタッフは、
本学会、特に年次集会に参加するたびに何かを得て、育てていただいたという
感謝の気持ちを抱いています。

30 年の間に、外来小児科の医療は大きく変化してきました。古い常識や習慣
では診療がなりたたなくなってきました。本学会は会員の皆さんの努力で、
いつでもその先端を走ってきました。

30 年というと、一世代という区切りでしょうか。

そのような思いから、今回のメインテーマは『次世代へのバトン』として、
自分たちが得たもの、そして次世代に伝えたいものを、思い出に残るような演
出とともに表現してみたいと考えました。

自由な雰囲気での発表、提言ができる一般演題、参加者全員が発言し議論に加
わるワークショップ、中華街での楽しい懇親会はもちろん企画しています。

ぜひ、2023 年 9 月、横浜にいらしてください。お待ちしております。

